

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ニレコ

コード番号 6863 URL <http://www.nireco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 長塚 寛

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 042-642-3111

平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,478	3.5	133	14.9	163	5.8	44	△38.4
23年3月期第2四半期	3,361	12.3	116	—	154	—	71	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 22百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	6.04	6.01
23年3月期第2四半期	9.82	9.77

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	11,558	10,175	87.2
23年3月期	11,326	10,194	89.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 10,079百万円 23年3月期 10,100百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	5.1	310	7.6	380	8.6	210	△35.0	28.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	9,205,249 株	23年3月期	9,205,249 株
24年3月期2Q	1,881,746 株	23年3月期	1,881,679 株
24年3月期2Q	7,323,510 株	23年3月期2Q	7,310,873 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により記載の数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気減退から回復基調にあるものの、ギリシャの債務危機を背景とした欧米の景気減速の影響や歴史的な円高の継続により輸出産業の競争力低下が懸念されるなど、先行き不透明な状況が継続いたしました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります印刷業、紙加工業、電気部品メーカー、鉄鋼業及び化学工業等におきましても、震災により寸断していたサプライチェーンの急速な立ち直りで生産が急速に回復する一方で、震災復旧の遅れや円高の長期化などを背景に先行きに対する不透明感が依然として残り、設備投資に対しては慎重な姿勢となりました。

このような情勢のもと、当社グループは取引先の震災復旧支援に注力するとともに、不安定な電力供給の中での生産能力の確保に努めながら積極的な営業活動を続けました結果、当第2四半期連結累計期間における業績の状況につきましては、売上高は3,478百万円（前年同期比103.5%）、営業利益は133百万円（前年同期比114.9%）、経常利益は163百万円（前年同期比105.8%）となりました。また、特別損失として投資有価証券評価損56百万円、当社のプロセス事業における韓国代理店に対する売掛債権について回収不能となる懸念が高まった事による貸倒損失引当金繰入額49百万円を計上いたしました。これらの結果、四半期純利益は44百万円（前年同期比61.6%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、前連結会計年度の第3四半期連結会計期間から、「印刷品質検査装置」の報告セグメントを「検査機事業」から「ウェブ事業」へ変更いたしました。これにより、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間において、「印刷品質検査装置」に関する各数値は変更後の報告セグメントに含まれております。

## ① プロセス事業

プロセス事業における主要取引先であります国内鉄鋼業界は、震災の影響により大幅に減少していた鉄鋼需要の回復が順調に進み、自動車向けを中心とした薄板鋼板の生産量などもほぼ震災以前の水準まで達しました。しかし、被災した製鉄所の復旧に対する設備投資を強いられる一方で、新興国における鉄鋼需要の増加や停滞している国内鉄鋼需要の先行きが不透明な事から海外での生産体制を強化する動きが加速し、国内での新規設備投資は依然として抑制されました。このような状況の中、震災により被害を受けた施設の修理や予備品の販売が増加した事や中小型の案件に注力した事などにより、前年同期を上回る受注を獲得しました。その結果、プロセス事業の売上高は1,079百万円（前年同期比95.7%）、セグメント利益は46百万円（前年同期比48.2%）となりました。

## ② ウェブ事業

ウェブ事業における主要取引先であります高機能フィルム業界では、薄型テレビ向けの液晶パネルが世界的な供給過多により生産調整に入りましたが、旺盛な需要が続くスマートフォンやタブレット端末等の中小型ディスプレイ向け製造ラインに対する設備投資は活発に行われました。このような状況の中、海外営業部門の再編成により中国や韓国、東南アジア諸国への営業活動を一層強化した事や、昨年度に市場投入した新製品の積極的な販売活動などにより、耳端位置制御装置や張力制御装置の売上高は前年同期を上回りました。その結果、ウェブ事業の売上高は1,656百万円（前年同期比109.9%）、セグメント利益は196百万円（前年同期比151.8%）となりました。

## ③ 検査機事業

検査機事業の主要製品である各種フィルム向け無地検査装置は、スマートフォンやタブレット端末の需要増加による中小型パネル向け検査ラインへの設備投資需要を捉え、大きく売上高を伸ばしました。一方、リチウムイオン二次電池向け電極シート検査装置は、ハイブリッド自動車等に使用される車載向け電池の設備投資本格化を前に、価格面での競争力を高めるため、仕様統一による原価低減を図りながら販売活動を行いました。受注に至るまで時間が掛かっております。また、農業関係向け選果ラインの検査装置は、内部品質センサや生傷腐敗センサの優位性を生かし、柑橘類や柿、胡瓜などの更新需要を確実に捉えた事により、前年同期を大きく上回る受注を獲得しました。その結果、検査機事業の売上高は727百万円（前年同期比102.6%）、セグメント利益は131百万円（前年同期比87.8%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて231百万円増加し11,558百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少148百万円などがあったものの、商品及び製品の増加194百万円、仕掛品の増加42百万円、原材料及び貯蔵品の増加114百万円などがあった事によります。また、負債は前連結会計年度末に比べて250百万円増加し1,382百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加123百万円、未払費用の増加79百万円、工事損失引当金の増加73百万円があった事によります。

純資産は前連結会計年度末に比べて18百万円減少し10,175百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の増加9百万円、新株予約権の増加3百万円などがあったものの、その他有価証券評価差額金の減少33百万円があった事によります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）につきましては、営業活動により1百万円増加し、投資活動により117百万円、財務活動により53百万円減少しました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は前連結会計年度末と比べて169百万円減少し3,259百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1百万円（前年同期比225百万円の減少）となりました。これは主にたな卸資産の増加349百万円、その他の流動資産の増加158百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益57百万円、仕入債務の増加123百万円、工事損失引当金の増加73百万円、減価償却費68百万円、投資有価証券評価損56百万円、売上債権の減少53百万円、貸倒引当金増加50百万円があった事によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は117百万円（前年同期比2百万円の減少）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入120百万円、投資有価証券の売却による収入42百万円、貸付金の回収による収入16百万円などがあったものの、定期預金の預入による支出123百万円、投資有価証券の取得による支出142百万円、固定資産の取得による支出25百万円などがあった事によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は53百万円（前年同期同等）となりました。これは主に配当金の支払額43百万円があった事によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結会計期間以降の業況見通しは、いまだ先行き不透明感も強く、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移していくものと予想されます。

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間に計上いたしました特別損失・投資有価証券評価損56百万円、貸倒引当金繰入額49百万円を含めた実績を考慮し見直しをおこないました。その結果、当初予想に比べ売上高が300百万円、営業利益が160百万円、経常利益が170百万円、そして当期純利益が100百万円の上方修正をおこなっております。

なお、詳細は本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,419,516	3,271,353
受取手形及び売掛金	2,584,280	2,534,334
有価証券	163,634	142,774
商品及び製品	853,782	1,048,193
仕掛品	689,590	732,177
原材料及び貯蔵品	428,015	542,612
繰延税金資産	170,279	200,546
その他	168,372	288,926
貸倒引当金	△25,837	△27,750
流動資産合計	8,451,633	8,733,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	470,376	455,220
機械装置及び運搬具(純額)	128,890	122,549
工具、器具及び備品(純額)	52,081	54,819
土地	650,942	650,942
建設仮勘定	15,890	15,590
有形固定資産合計	1,318,180	1,299,121
無形固定資産	81,927	67,932
投資その他の資産		
投資有価証券	976,217	992,393
長期貸付金	283,482	269,527
繰延税金資産	3,271	3,271
破産更生債権等	19,697	69,338
その他	213,295	193,925
貸倒引当金	△20,908	△70,553
投資その他の資産合計	1,475,056	1,457,903
固定資産合計	2,875,164	2,824,957
資産合計	11,326,798	11,558,126

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	359,158	482,716
未払費用	336,484	416,003
リース債務	18,670	19,549
未払法人税等	41,851	49,209
未払消費税等	35,729	14,972
役員賞与引当金	21,500	8,772
工事損失引当金	57,400	130,810
その他	131,578	145,880
流動負債合計	1,002,373	1,267,913
固定負債		
リース債務	33,065	22,851
繰延税金負債	8,125	8,125
退職給付引当金	23,114	28,354
役員退職慰労引当金	29,441	30,928
負ののれん	36,509	24,745
その他	27	—
固定負債合計	130,283	115,005
負債合計	1,132,656	1,382,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,127,057	4,127,057
利益剰余金	4,251,934	4,252,227
自己株式	△1,279,525	△1,279,556
株主資本合計	10,171,819	10,172,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,755	△48,884
繰延ヘッジ損益	△2,317	—
為替換算調整勘定	△53,280	△43,845
その他の包括利益累計額合計	△71,354	△92,730
新株予約権	17,754	21,162
少数株主持分	75,922	74,694
純資産合計	10,194,142	10,175,207
負債純資産合計	11,326,798	11,558,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	3,361,633	3,478,823
売上原価	2,250,542	2,307,706
売上総利益	1,111,091	1,171,116
販売費及び一般管理費	994,570	1,037,255
営業利益	116,521	133,861
営業外収益		
受取利息	8,794	9,189
受取配当金	8,716	7,507
負ののれん償却額	12,415	11,764
その他	17,591	12,289
営業外収益合計	47,517	40,750
営業外費用		
支払利息	2,950	2,455
為替差損	15	5,569
その他	6,642	3,169
営業外費用合計	9,608	11,194
経常利益	154,430	163,417
特別利益		
負ののれん発生益	26,349	—
特別利益合計	26,349	—
特別損失		
投資有価証券評価損	110,767	56,760
貸倒引当金繰入額	—	49,507
特別損失合計	110,767	106,267
税金等調整前四半期純利益	70,013	57,150
法人税等	△3,864	13,919
少数株主損益調整前四半期純利益	73,877	43,230
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,075	△1,003
四半期純利益	71,801	44,234

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	73,877	43,230
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△51,336	△33,128
繰延ヘッジ損益	—	2,317
為替換算調整勘定	△18,001	10,015
その他の包括利益合計	△69,337	△20,795
四半期包括利益	4,539	22,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,932	22,858
少数株主に係る四半期包括利益	606	△423

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	70,013	57,150
減価償却費	71,006	68,487
のれん償却額	△12,415	△11,764
長期前払費用償却額	3,557	3,371
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,612	△12,728
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,210	50,881
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	11,834	73,410
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	28,186	25,957
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△17,448	1,487
受取利息及び受取配当金	△17,510	△16,697
支払利息	2,950	2,455
為替差損益 (△は益)	5,468	1,364
負ののれん発生益	△26,349	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	110,767	56,760
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,620	△239
固定資産除却損	3,147	353
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,527	53,773
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△87,245	△349,223
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,460	△158,649
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,839	123,046
未払消費税等の増減額 (△は減少)	45,688	△20,959
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	33,527	68,771
その他	6,359	1,881
小計	214,491	18,890
利息及び配当金の受取額	15,457	15,002
利息の支払額	△2,950	△2,455
法人税等の支払額	△8,659	△34,374
法人税等の還付額	8,912	4,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,251	1,923
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△93,426	△123,016
定期預金の払戻による収入	70,315	120,663
固定資産の取得による支出	△28,156	△25,570
投資有価証券の取得による支出	△76,864	△142,759
投資有価証券の売却による収入	18,287	42,336
子会社株式の取得による支出	△5,625	—
貸付けによる支出	△17,330	△2,340
貸付金の回収による収入	19,228	16,164
その他の支出	△10,320	△3,256
その他の収入	3,453	190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,438	△117,588

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△20,000	△300,000
自己株式の売却による収入	4	—
自己株式の取得による支出	—	△31
配当金の支払額	△44,033	△43,807
少数株主への配当金の支払額	△1,137	△805
その他	△8,364	△9,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,530	△53,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,306	69
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	38,976	△169,575
現金及び現金同等物の期首残高	2,921,844	3,428,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,960,820	3,259,340

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,127,495	1,507,825	709,177	3,344,497	17,136	3,361,633	—	3,361,633
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,127,495	1,507,825	709,177	3,344,497	17,136	3,361,633	—	3,361,633
セグメント利益	97,467	129,342	150,087	376,896	975	377,871	△261,350	116,521

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△261,350千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

当第2四半期連結累計期間において、プロセス事業に関連した負ののれんを26,349千円計上しております。これは、当社が追加取得した子会社株式の取得原価が、当該追加取得に伴う少数株主持分の減少額を下回った事によるものであります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,079,171	1,656,752	727,506	3,463,429	15,394	3,478,823	—	3,478,823
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,079,171	1,656,752	727,506	3,463,429	15,394	3,478,823	—	3,478,823
セグメント利益	46,986	196,286	131,788	375,060	3,104	378,164	△244,303	133,861

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△244,303千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度の第3四半期連結会計期間から、制御及び検査の領域を合わせて事業展開と市場拡大を図るため、「印刷品質検査装置」の所轄を当社の検査機事業部からウェブ事業部に移管したことに伴い、同装置の報告セグメントを「検査機事業」から「ウェブ事業」に変更いたしました。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間については、変更後の区分方法により作成した「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」を記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。